

滋賀医科大学医学部附属病院

乳腺・一般外科を受診されるみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、患者さんの安全確保のため、
当科の診療体制と対策をお知らせいたします。（あくまでも一時的な措置です）

●初診の制限について

病院全体の方針と同様、現在紹介状をお持ちではない患者さんはお断りしております。

また、患者さんの不急の外出による感染を減らすため、また、当院スタッフの感染・濃厚接触などによる乳腺診療の停止を避ける体制作りのため、紹介状やお話を伺ったうえで以下のような**急を要しない受診は待機、延期をお願いする場合がございます**。
あらかじめご了承ください。

- ・ 自覚症状のないかたへの乳がん検診（他院、当院他科からの依頼を含む）
- ・ 痛みをみの自覚症状の場合（特に周期的な痛みは経過観察をおすすめします）
- ・ 検診「要経過観察」の場合

⇒いずれもまずは、通常の乳がん検診を受けていただき、**「要精密検査」となった場合に紹介状（要精密検査の通知とマンモグラフィ画像）**をご持参ください。

また、2021年1月より、診療体制の変更にともない、予約枠が減少しております。新規の患者さんにおいては、予約時期が数か月先になることや、治療については関連施設をご紹介することがありますので、ご了承ください。

●手術について

現在、乳がん手術は可能な限りガイドラインに沿った手術をおこなっております。
遺伝性乳がん卵巣がん症候群の遺伝カウンセリング、予防的乳房切除+乳房再建術についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら開始しております。

ただし感染の状況によっては、乳がん手術を優先度の高い順（生命を脅かす可能性が高い順）から行ったり、術式の変更をおすすめる場合があります。

●マンモグラフィ検査、乳房MRI検査の縮小について

マンモグラフィ（乳房撮影）は、乳腺診療には基本となるものではありませんが、より良い撮影のために技師が患者さんに長時間「密接」して行われる検査です。また、乳房MRI検査も技師と接近することがあり、長時間「密室」での検査となります。
新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐため、**乳房検査時にはマスクの着用をお願いします**。
また、感染拡大の状況によっては、検査を必要最小限にする場合があります。

【参考になるwebサイト】

- ・ がん情報サービス
「がん患者や家族、周りの人へ：新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際して」
<https://ganjoho.jp/public/news/2020/20200410.html>
- ・ がん関連3学会（日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会）
「新型コロナウイルス感染症とがん診療についてQ&A」
https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa_3gakkai.html
- ・ 日本放射線腫瘍学会
「がん医療および放射線治療に関するFAQ」
「がんの放射線治療後の免疫力について」
<https://jastro-covid19.net/patient/>

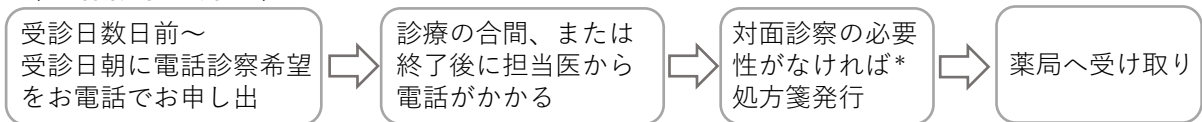


<通院中のかたへ>

●乳がん術後、自覚症状なく安定して過ごされているかた

・現在状態が落ち着いており、いつも同じお薬を処方されているかたには、**電話診察での処方継続**をおすすめしています。当院から直接、処方箋をお近くの調剤薬局にFAXしており、患者さんの外出機会を減らすことができますのでぜひご利用ください。

◇電話診察の流れ◇



*体調に変化があり診察が必要と判断された場合は、受診していただきます

・また、他にかかりつけ医があり、定期的に処方を受けておられる方は、かかりつけ医から乳がん治療薬を処方いただけるよう紹介状をご用意し、当院へは年1-2回の通院にすることも可能です。ご希望の方は担当医へご相談ください。

・定期検査としての採血や年に1回のCT、マンモグラフィ検査などは、新型コロナウイルス感染拡大の状況に合わせて、早めにしたり、先延ばしにしたりしています。ご希望がございましたら、外科外来へご相談ください。

・おうちでは、**1か月に1回の乳房自己触診**（手術したほうも、していないほうも）を忘れず、行ってください。

・発熱や、いつもと違う症状があった場合は、**まずはお電話で**ご相談ください。

電話診察や予約変更のご希望の場合は **077-548-2556 外科外来**までお電話ください。

新型コロナウイルス感染症の重症化に「基礎疾患」が関係している可能性が言われていますが、現在化学療法中ではなく再発もなく、自覚症状が特にない場合において、「乳がんの治療中」や「乳がん治療の経験がある」ことは、重症化リスクにはなりにくいと考えられています。

●乳がん化学療法中のかた

基本的には内服も点滴も予定通りに実施いたしますが、「通院回数を減らしたい」などご希望があれば担当医にご相談ください。状態に応じて、こちらから提案をすることもございます。また、場合によっては急な診察医の変更などがございますが、ご了承ください。

●乳がん以外の乳腺疾患やマンモグラフィ異常などで定期的に経過観察中のかた

急なしこりの増大など変化がなければ、予定している受診日の変更が可能ですのでお電話でご相談ください。

乳輪下膿瘍、化膿性乳腺炎などをくりかえすかたで、症状があらわれた場合は、我慢せず、まずはお電話でご相談いただき、受診をしてください。



滋賀医科大学医学部附属病院

乳腺・一般外科 外来

077-548-2556 （平日8:30～17:00）

窓口対応中の場合、電話に出られない場合があります。
医師への内容確認のため、保留でお待たせしたり、
折り返しのご連絡になる場合があります。

（この文書を許可無く転用・拡散することを禁じます）